

ヒメマルゴキブリの与路島からの初記録

仲宗根和哉

〒 905-1411 沖縄県国頭郡国頭村字辺士名

Abstract

Specimens of *Perisphaerusr horaianus* Hsu, Yanagisawa & Ohgita, 2025 were collected from Yorojima Island. This represents the first documented record of the species from Yorojima Island.

はじめに

日本に生息するヒメマルゴキブリ属 *Perisphaerusr* の種は従来 *P. pygmaeus* Karny, 1915 とされてきたが、2025 年にヒメマルゴキブリ *P. horaianus* Hsu, Yanagisawa & Ohgita, 2025 として新たに記載された (Hsu et al., 2025)。ヒメマルゴキブリは鹿児島から琉球列島を経て台湾まで分布することが確認されている (Hsu et al., 2025)。

今回、与路島からヒメマルゴキブリ *P. horaianus* を採集した。これまでに与路島からゴキブリ類は、アカボシルリゴキブリ *Eucorydia tokaraensis* Yanagisawa, Sakamaki & Shimano, 2020, マダラゴキブリ *Rhabdoblatta guttigera* (Shiraki, 1960), が記録されているのみで (坂本・金井, 2020; 柳澤ほか, 2024), ヒメマルゴキブリは初記録となるためここに報告する。なお、標本は琉球大学博物館（風樹館, RUMF: Ryukyu University Museum Fujukan）に収蔵されている。

記録

ヒメマルゴキブリ *Perisphaerusr horaianus* Hsu, Yanagisawa & Ohgita, 2025

2025 年 11 月 27 日 23:10 頃、鹿児島県大島郡

瀬戸内町与路島中央部の森林内において採集した。採集標本は、全長 13.6 mm の雌であった (RUMF-ZI-60457; Fig. 1)。採集環境は沢沿いのイタジイを主体とした林内で、標本個体はイタジイの樹幹樹皮上にて活動中であった。なお、周辺の樹幹にはアマミヤモリ *Gekko vertebralis* Toda, Sengoku, Hikida et Ota, 2008 が見られた。

備考

本標本は雌であり、球状に丸まること、頭部前面が暗褐色で頭頂部にかけて徐々に暗赤褐色であること、および腹部背面側部の孔数が第 1 腹背板から [0-3-3-3-3] である (Fig. 1B) ことから Hsu et al. (2025) の示すヒメマルゴキブリの特徴と一致する。

ヒメマルゴキブリの国内における記録は、鹿児島県、甑島列島の下甑島、大隅諸島の屋久島、黒島、トカラ列島の中之島、悪石島、宝島、奄美群島の奄美大島、枝手久島、徳之島、沖永良部島、大東諸島の北大東島と南大東島、沖縄諸島の伊是名島、沖縄島、浜比嘉島、久米島、慶良間諸島の渡嘉敷島、慶留間島、宮古諸島の宮古島、伊良部島、八重山諸島の石垣島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島から知られる (Hsu et al., 2025; 吉田, 2025)。これらの他に *P. pygmaeus* Karny, 1915 として記録され、ヒメマルゴキブリと考えられるものの記載論文で標本の再同定が行われていないと思われる生息地は、男女群島の女島、大隅諸島の種子島、宇治群島の宇治島、奄美群島の加計呂麻島、沖縄諸島の伊平屋島、粟国島、八重

Nakasone, K. 2025. First record of *Perisphaerusr horaianus* Hsu, Yanagisawa & Ohgita, 2025 from Yorojima Island of the Amami Group, Ryukyu Archipelago. *Nature of Kagoshima* 52: 173–174.

✉ KN: Henton, Kunigami, Okinawa 905-1411, Japan (e-mail: kzy121908@gmail.com).

Received: 12 January 2026; published online: 12 January 2026; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_052/052-043.pdf

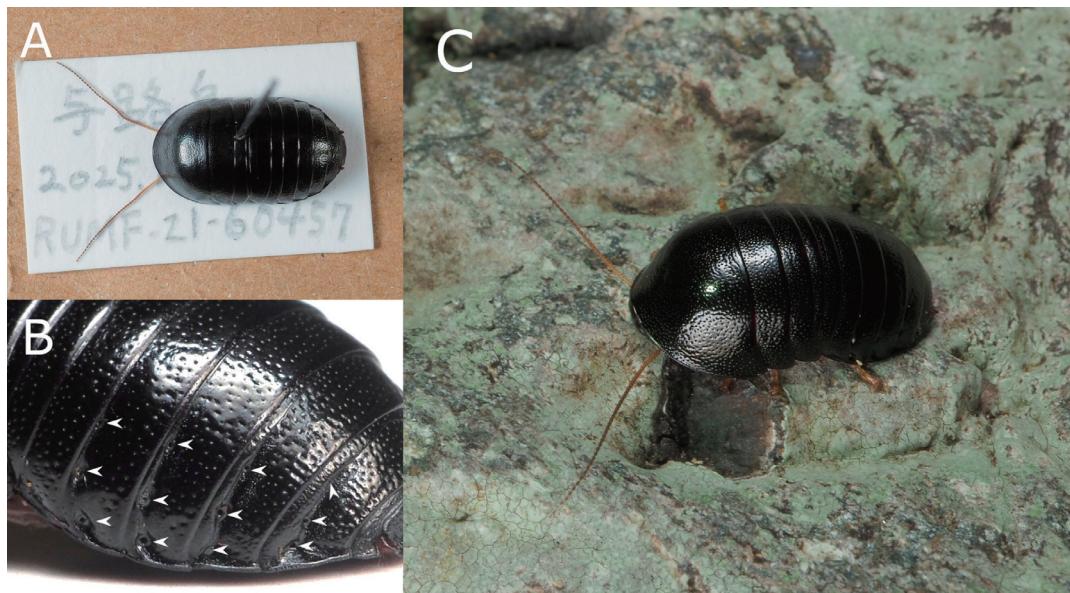


図1. 与路島から採集されたヒメマルゴキブリ (RUMF-ZI-60457: 雌, 全長 13.6 mm). A, 全体背面; B, 腹部背面と孔; C 生態写真.
Fig. 1. *Perisphaerous horaianus* (RUMF-ZI-60457: female, TL 13.6 mm) collected from Yorojima Island, Japan. A, entire animal, dorsal view.; B, abdomen and pit.; C, in situ photograph.

山諸島の黒島である（大北・柳澤, 2022；Hsu et al., 2025）。このため本報告は、標本に基づく与路島からのヒメマルゴキブリの初記録となる。

謝 辞

調査にあたりご同行頂いた、Natural BOX 株式会社の石神安弘氏、琉球大学大学院理工学研究科の上村 亮氏にお礼を申し上げる。

引用文献

- Hsu, CT., S. Yanagisawa, S. Ohgita, S. f. Hiruta, CY. Huang and WB. Yeh, 2025. A New Species of the Genus *Perisphaerous* Audinet-Serville, 1831 (Blattodea: Blaberidae) from Japan and Taiwan, and Redescription of the Female of *Perisphaerous pygmaeus* Karny, 1915. Japanese Journal of Systematic Entomology, 31 (1): 185–197.

大北祥太郎・柳澤静磨, 2022. ヒメマルゴキブリ *Perisphaerous pygmaeus* Karny, 1915 の波照間島からの追加記録、および *Perisphaerous*に対する標準名の提唱. Fauna Ryukyuana, 64: 1–3.

坂元直幸・金井賢一, 2020. 与路島の昆虫採集記録. 鹿児島県立奄美高等学校「研究紀要 あまみ」, (10): 101–106.

柳澤静磨・小松拓実・藤川浩明・波多野幸希・大北祥太郎・池田 大, 2024. 奄美群島枝手久島・加計呂麻島・与路島におけるアカボシリゴキブリ *Eucorydia tokaraensis* Yanagisawa, Sakamaki & Shimano, 2020 の初記録. Nature of Kagoshima, 51: 199–201.

吉田 航, 2025. 沖縄県八重山郡竹富町小浜島におけるヒメマルゴキブリの初記録. 月刊むし, (657): 54–53.